



3月16日～3月31日の活動報告

●2022年度第3回人財活躍推進委員会

日時：3月23日(木) 12:20-14:00
場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)
参加者：10名(会場6名、オンライン4名)

委員会の開始に先立ち、2月9日に逝去された浅野邦子副委員長に黙とうを捧げた。

八木委員長は挨拶にて、浅野副委員長の功績やお気持ちを偲び、委員会として進むべき方向性を議論していきたいと述べた。また、コロナ禍から社会活動が回復しつつある一方で、実体経済との乖離も感じられる中での賃上げについて言及。賃上げと利益とのバランスをとるには、企業が価値を生み出すことが必要であり、人材を中長期的に育成することが重要とした。

議事では、2022年度事業の実施状況報告と2023年度事業計画案について審議した。

社員の男女比率の差が大きい企業では、男女別に管理職比率を算出して、男女差の縮小に取り組んでいる。女性管理職増加に向けて、ポストを細分化して、女性を登用しやすくする。育児中社員のフォローに同僚が不満を感じやすい状況に対して、お互いの状況を理解しやすい育児中のメンバーでチームを作り、プロジェクトを進める。こうした各社の取組の紹介もあった。

2023年度事業計画案については、新しい視点や強化すべき点等、いただいた多数の意見を計画に反映させていく。



(担当：日野)

●2022年度第3回国際委員会

日時：3月24日(金) 15:00-16:15
場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)
参加者：12名(会場7名、オンライン5名)

江守委員長は冒頭の挨拶で、欧米の景気等に起因し、繊維産業が厳しい状況にある一方、コロナウイルスの収束、及び円安がインバウンド需要の回復に

つながると述べた。また、海外市場調査、海外進出企業に対する有益な情報の提供、外国人の呼び込みが更に非常に重要になることを強調した。

委員会では、2022年度事業計画の進捗状況、2023年度事業計画案について審議。委員より資源高や半導体・電気部品の納期遅れ、人手不足が企業の課題となっていると発言があった。他方、北陸・韓国経済交流会議開催の検討、人流を伴う活動の再開、サプライチェーン・カーボンニュートラルを意識した経営の重要性に関して活発な意見交換がなされた。事業計画については、委員から多数の示唆に富む助言や要望等の発言があり、今後の事業活動を進める中で鋭意検討することとした。

委員会後には懇親会が開催され、限られた時間ではあったものの、活発な交流がなされ、委員間の親交がより深まった有意義な機会となった。



(担当：小島・高道)

●2022年度第3回海外現地情勢報告セミナー

日時：3月24日(金) 16:30-17:30(日本時間)
場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)
参加者：54名(会場18名、オンライン36名)

<主催者挨拶>北経連 国際委員長 江守康昌氏
<講演>

「サプライチェーンの多様化と成長する東南アジア」
日本経済新聞社 国際報道センター
Nikkei Asia グループ 岩本健太郎氏

江守委員長は冒頭の挨拶で、サプライチェーンの再構築、国内外の為替変動、経済安全保障、米中摩擦、並びにロシア・ウクライナ問題等が起因し、北経連会員を取り巻く環境は複雑化しており、将来の予測が困難となっていると述べた。

開催後のアンケートでは、サプライチェーンの多様化、東南アジアの最新政治・経済状況、東南アジアの成長性、東南アジアが感じている日本の存在感に対する理解が深まり、質疑応答でもメディアならではの貴重な回答が得られ、大変有意義な機会であったとの感想が数多く寄せられた。

アンケート結果を参考に、次回の対象国、テーマ等

を慎重に検討したい。



(担当：小島、高道)

●ABCプラットフォーム第2回全体会議

日時：3月16日(木) 全体会議 14:00-18:00

レセプション 18:15- (シンガポール時間)

会場：シンガポール Singapore Manufacturing Federation (SMF)、オンライン併催

参加者：関西経済連合会松本会長、各国経済団体代表者(7か国) 以下現地参加43名、オンライン39名

主催：Singapore Manufacturing Federation、(公社) 関西経済連合会

ABCプラットフォーム第2回全体会議に現地、及びオンラインにて出席した。ABCプラットフォーム事業を活用した、ビジネス創出の具体的成果として「事業実現支援プログラム」参加企業によるプレゼンテーション、各国関係機関代表による同事業の成果報告、意見交換が実施された。

会議後のレセプションでは、各国経済団体と日本側参加者間で対面交流が行われ、人的ネットワークが構築された。来年度以降、当会が海外関連セミナーを企画する際の海外の共催者を見出すことができ、大変有意義な機会となった。

引き続き、各国経済団体、同団体所属企業と当会会員企業間のマッチングの機会を創出するべく、当会会員企業を啓発しつつ、関経連と連携を図る。



(担当：小島・高道)

●2022年度第3回新たな価値創出委員会

日時：3月28日(火) 12:20-13:50

場所：ANAクラウンプラザホテル金沢(オンライン併催)

参加者：19名(会場13名、オンライン6名)

委員会の冒頭、北村委員長から日本の労働生産性の低さは自動化設備への投資の遅れにあると考えており、政府の2022年度第2次補正予算において科学技術・イノベーション、スタートアップ、GX、DX等への投資促進として約6兆円の予算が盛り込まれたことを契機に地域へ投資を呼び込み経済の活性化につなげることが必要と挨拶があった。

事務局から2022年度事業計画の実施状況と評価・方向性の報告、2023年度事業計画案を説明。(一財)北陸産業活性化センターから北陸RDXの状況について紹介した。

委員からは、企業と大学の交流機会の継続、対面交流の良さ、産業技術総合研究所北陸拠点見学などについてのご意見、先進企業のDX導入効果測定の問題提供があった。

また、大学の委員からは、学生の有給長期就業体験のコーオプ教育、企業のデジタル化を支援する取組み等について紹介があった。

いただいた意見について検討し、2023年度事業計画案に反映させていく。



(担当：坂井・松木)

●新たな価値創出オンライン講演会

日時：3月28日(火) 14:00-15:00

形式：オンライン開催(委員のみ会場参加)

参加者：69名

福井大学学長の上田孝典氏を講師に迎え「福井大学の産学官金連携活動と展望～地域特性と連携力を活かして～」と題し、新たな価値創出講演会を開催した。なお、本講演会は、北経連会員以外の方にも各商工会議所等の各団体を通じて案内し、オンライン講演会として開催した。

上田学長からは、福井大学の産学官連携の取組みや地域における産業界や県との連携について話があった。

福井大学の産学連携・地域イノベーション推進機構、各リサーチ・アドミニストレーター (URA) の取組み、産学官連携プロジェクト研究開発の事例として眼鏡型ディスプレイ、未来創造テキスタイル研究棟整備の経済産業省補助事業の採択等について紹介があった。

また、ふくいオープンイノベーション機構、ふくい宙(そら)プロダクト開発生産拠点化事業、新価値共創拠点「i-Garage ふくい」、産業技術総合研究所北陸拠点等、地域の各産学官機関等との連携についても紹介があった。

最後に、信頼感に基づく対話を数多く持続的に実施するとともに、共に社会実装・事業化まで協働する仕組みづくりを目指して挑戦していきたいと講演を締めくくった。



(担当：松木・坂井)

●第2回北陸デスティネーションキャンペーン実行委員会

日時：3月28日(火) 15:30-16:30

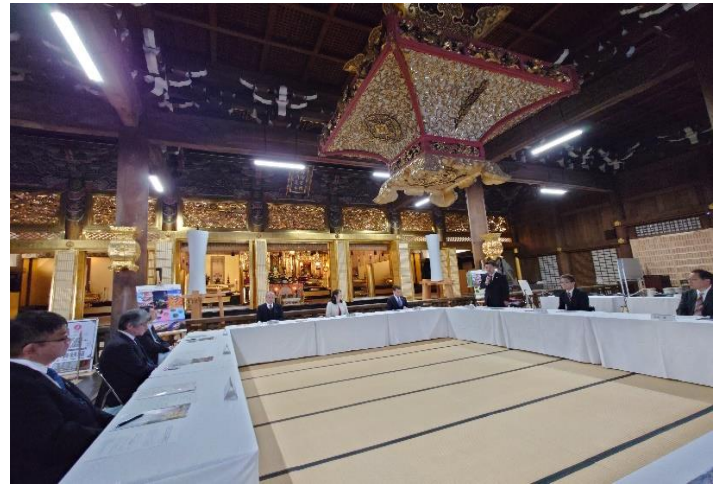
場所：国宝 雲龍山勝興寺 本堂(富山県高岡市)

北陸新幹線敦賀開業後の2024年10~12月に北陸三県で実施される「北陸デスティネーションキャンペーン(DC)」に向け実行委員会が開催された。北経連の東田専務理事を含め、北陸三県や各県の観光連盟・推進機構、JR西日本より約30名が出席した。

会議では北陸デスティネーションキャンペーンのキャッチフレーズが「Japanese Beauty Hokuriku (ジャパニーズ ビューティー ホクリク) ~日本の美は、北陸にあり。~」に決まった。また「全国宣伝販売促進会議」を今年11月8日~10日に福井市の県産業会館を中心に開催することも正式決定した。

JR西日本の漆原理事・金沢支社長は「(敦賀)開業効果を最大にするため一体となって、素材の発掘や周遊ルートの整備を進めたい」と挨拶した。

そのほか今年10~12月にプレキャンペーンとして、大都市圏でのPRイベントやガイドブック作成などに取り組むことを確認した。



(担当：小玉)

●2022年度第3回社会基盤委員会

日時：3月30日(木) 12:00-14:00

場所：ホテル日航金沢(オンライン併催)

参加者：13名(会場7名、オンライン6名)

光野委員長は挨拶で、北陸新幹線の金沢・敦賀間について、2024年春の開業に向け、鋭意工事が進められ、順調に進捗しており、引き続き2024年春の確実な開業を政府に力強く要請し、また、関西の経済団体や北陸三県と緊密に連携し政府にも力強く要請するとともに、京都など関西圏での機運醸成に努めていきたいと述べた。

委員会では、2022年度事業計画の実施状況と評価・方向性、2023年度事業計画案について審議した。委員からは、北陸新幹線の敦賀・新大阪間の全線開業に向けたスケジュール感についての質問や、関西経済連合会を含め、その他関西の経済団体との連携について、人流・物流に関する見学会の事例、各港湾でのカーボンニュートラルポート(CNP)形成に関する政府への要望等の意見をいただいた。



(担当：渡辺)

今後の行事予定

◆2022年度 第3回観光委員会

日時：4月19日(水) 12:20-14:30

場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)

対象：委員に案内済

(担当：高島・日野)

◆2022年度 第3回総合対策委員会

日時：4月21日(金) 12:20-14:00

場所：ホテル日航金沢(オンライン併催)

対象：委員に案内済

(担当：小林)

お知らせ

■北陸環境共生会議からのお知らせ

パンフレット「地球温暖化ってなんだろう!？」提供

北陸環境共生会議は、パンフレット「地球温暖化ってなんだろう!？」を作成しました。北陸地域の環境学習や環境活動に広くご活用ください。ご希望の方は部数、送付先を北経連事務局までご連絡ください。

【URL】

https://www.hokkeiren.gr.jp/kankyo/dbook_earth/HTML5/pc.html#/page/1

(担当：森岡)

■総務省北陸総合通信局からのお知らせ

北陸情報通信協議会定期総会 特別講演会

【日時】4月24日(月)16:00-17:00

【場所】金沢東急ホテル 5階ボールルーム

【対象】北陸情報通信協議会会員以外の方も参加可
(総会および講演会終了後の交流会は同協議会会員のみ参加可)

【内容】

「サステイナブルからリジェネラティブへ～地域

における ICT 活用の新しい方向性～」

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授 三友仁志氏

【主催】北陸総合通信局、北陸情報通信協議会

【定員】100名(先着順)

【申込】4月19日(水)までにメールにて申込み

Mail: hokuriku-telecom@soumu.go.jp

申込メールに記載する必要事項

件名：令和5年度定期総会特別講演(4/24)参加申込み

①氏名、②所属企業・団体名、③所属部署名

④所在地(市町村まで)、⑤連絡先電話番号

【問合せ】総務省北陸総合通信局

TEL：076-233-4420

(松木・坂井)

■富山県からのお知らせ

「T-Messe2023 富山県ものづくり総合見本市」への出展募集

【開催概要】

・会期：10月26日(木)-28日(土)の3日間

・会場：富山産業展示館(テクノホール)

・主催：富山県ものづくり総合見本市実行委員会

【詳細】関連行事、出展規約等の詳細は下記URLのT-Messe2023サイトを参照願います。

<https://www.toyama-tmesse.jp/>

【出展申込】5月31日(水)までに下のURLから申込

<https://www.toyama-tmesse.jp/entry>

【問合せ】富山県ものづくり総合見本市事務局

(株)ジェック経営コンサルタント内

TEL：076-444-2023

Mail: t-messe@jeckc.com

(担当：松木)

■BOI 大阪事務所からのお知らせ

「スマートエレクトロニクス産業：期待が高まるタイでの投資機会」

タイ投資委員会(BOI)では、企業の皆様に、タイで市場が継続的に拡大し、需要が著しく増加しているエレクトロニクス産業の豊富な投資機会を探って頂くことを目的にWebセミナーを実施します。

タイにおけるスマートエレクトロニクスとそのエコシステムの見通し、BOIの恩典など、各種支援策の概要をお伝えします。

【日時】4月27日(木)15:00-16:30(日本時間)

【場所】オンライン(zoom)

【言語】泰日同時通訳

【定員】200名程度(先着順)

【主催】タイ投資委員会(BOI)大阪事務所、



タイ王国大使館経済・投資事務所

【共催】(公財)大阪産業局(OBDA)

【申込】4月24日(月)までに下のURLより申込

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_oaFa3LGxTXmxc1ZidzPjKA

【問合せ】タイ投資委員会(BOI)大阪事務所

TEL: 06-6271-1395

Mail: boiosaka.event@boi.go.th

(担当: 小島・高道)

以 上